

## 新興市場ベトナム訪日旅行市場はプロモーションの好機！ ハノイ・ホーチミン「ビジット・ジャパン (VJ) セミナー・商談会」参加報告

シンガポール事務所

### 1 はじめに～ベトナム訪日旅行市場の現況

南北に長い国土を持ち、人口約 9,000 万を抱えるベトナムは、積極的な外資導入政策による経済活性化と旺盛な個人消費に下支えされ、好調な経済成長を維持しています。訪日旅行市場も活況を呈しており、日本政府観光局 (JNTO) の発表によると、2014 年 9 月末時点の訪日ベトナム人数は前年比 49.1% 増の 90,700 人と過去最高の数値を記録しており、拡大基調を維持しています。

また、ベトナムでは、日本のアニメや食文化に対する関心が高いなど親日的なことでも知られており、訪日旅行者誘致の環境が整いつつあります。

しかし、ベトナムで得られる訪日旅行関連情報は限定されており、東京、大阪、富士山など、主要な観光地しか知らない人がほとんどであるというのが現状です。このため、現地の旅行業者からは、新たな目的地や観光名所の情報を強く求められています。

クリアシンガポール事務所 (以下 CLAIR) は、国土交通省観光庁、日本政府観光局 (JNTO) バンコク事務所主催で、2014 年 10 月にベトナムの 2 大都市であるハノイとホーチミンで開催された「ビジット・ジャパン (VJ) セミナー・商談会」に参加し、現地の旅行業関係者等に対して訪日旅行プロモーションを実施しました。当日の様子や参加者の声などをもとに、現在のベトナム訪日旅行市場の動きなどについて報告します。

### 2 今がまさに訪日旅行プロモーションのチャンス

本セミナー・商談会を通して、ベトナムにおける訪日旅行については、今がまさにプロモーションの好機であることがうかがえました。当日、各関係者から伺った話などをもとに、その理由を以下に紹介します。

#### ●ベトナム国民に対する数次ビザ発給緩和

2013 年 7 月 1 日に、ベトナム国民を対象とした短期滞在数次査証の発給が開始されました。更に、2014 年 9 月 30 日には短期滞在数次査証の一部要件等の緩和が発表され、書類要件の緩和、査証有効期間の伸長、滞在期間の伸長等が可能となり、訪日旅行需要喚起の追い風要因となることが期待されます。

## ●訪日旅行市場の拡大

先にも述べたとおり、ベトナムにおける訪日者数は近年順調に増加しており、現地旅行会社の取り扱う訪日旅行商品も増加するなど、訪日旅行市場が拡大していることがうかがえます。プロモーションを行うにあたっては、親日的で日本への関心が高いこと、日本から近く、移動時間は6時間程度、と好材料が揃っています。今がまさにベトナム訪日旅行市場に積極的にプロモーションを行うべきタイミングだと思われれます。



多くのベトナム旅行業関係者でにぎわう商談会場の様子

## 3 ベトナム訪日旅行市場の特徴

ベトナムにおいて訪日旅行プロモーションを行う際には、市場の特徴を把握しておく必要があります。現地旅行業関係者などから聞いた話をもとに、ベトナム訪日市場の特徴について以下に記載します。

### ●ゴールデンルート・プラスワンの地域への注目の高まり

東京・大阪・富士山・京都などのゴールデンルートはベトナムで取り扱われる訪日旅行商品の主流であり、人気も高い状況ですが、訪日旅行への需要が高まるなかで、ゴールデンルートに加えた新たな地域への関心も高まっており、情報が求められています。現地の旅行業関係者は、ゴールデンルート以外の地域の知識・情報が不足しているため、東京・大阪など主要都市からのアクセスや、ゴールデンルートでは体験できない観光コンテンツの紹介などを含む、効果的なプロモーションを展開する必要があります。

### ●ベトナム人の訪日旅行形態

ベトナムの訪日旅行市場は今まさに大きく伸びているところであり、現在は主にゴールデンルートを訪れる団体旅行のパッケージツアーが圧倒的に多い状況です。

購入先としては、下記の通り高額商品となるため、店舗型の旅行会社で、内容について相談の上で予約していくケースが多く、インターネット経由でのツアー予約はほとんどない状況です。

訪日旅行商品の平均価格は1週間で約1,500USドル(約16万2,000円)前後となっており、富裕層による旅行が主流となっています。

また、ベトナムは南北に長く、北部のハノイは首都・政治都市、南部のホーチミンは商業・経済都市というそれぞれの地域特性を認識しておく必要があります。

北部のハノイでは四季があり、旅行形態も家族旅行を好む傾向があります。これに対して南部のホーチミンは、一年中暖かい気候で、旅行形態も、家族ではなく友人・仲間等との旅行を好む傾向があります。

訪日旅行時期は、桜、紅葉が見られる 4 月と 10 月がピークとなっています。

### ●訪日旅行に求めるもの

ベトナム人が訪日旅行に求めるものとして、桜・日本食・伝統文化・自然景色・雪が上位を占めています。日本のテーマパークの認知度も高く、人気の観光コンテンツとなっています。

ベトナムでは体験できない日本ならではの経験を期待している人が多いため、各地域資源を生かした受け入れが効果的といえます。

注意点としては、風呂桶を利用する習慣があまり無いことや、人前で裸になることに抵抗を感じる人も多いことから大浴場の利用は好まれず、純和風の温泉旅館に宿泊するケースは現在では殆どありません。そのため、日本独特の経験の 1 つとして温泉を行程に入れる際には、足湯など手軽にできる体験から提案したほうが受け入れられやすいと言えます。

また、ベトナムでは Wi-fi 環境が日本以上に浸透しているため、日本滞在中に Wi-fi 環境が限定される事に不安を感じる人も多く、Wi-fi 環境の充実も大切な要素と言えます。

## 4 おわりに～参加者の声

今回の商談会では、CLAIR もブースを設置し、日本各地の観光パンフレットを用いて観光情報の提供を行いました。ゴールデンルート以外の新たな地域の情報を求める参加者が CLAIR ブースを訪れ、興味深く各地の観光パンフレットを眺めては手に取り持ち帰っていく様子からも、日本の観光情報が強く求められている現状がうかがえました。



CLAIR ブースを訪れ観光情報を求める

参加者の様子

本セミナー・商談会に参加したベトナム旅行業関係者や自治体関係者からは、以下のような声がありました。

### ●ベトナム旅行業関係者の反応

ベトナムでは訪日旅行への需要が高まっているので、今回のようなセミナー・商談会を続けて開催することが非常に良いと思われる。また、今回のような機会は、



ゴールデンルート以外の地域の情報収集を行ううえでも非常に重要である。今後も継続的な開催を期待している。



## ●参加した自治体の感想

### ◇北海道観光推進機構

シンガポール、タイ、マレーシア等と比べて、北海道の知名度が低い印象を受けた。現時点では、ゴールデンルートを中心とした訪日旅行が主流のため、北海道単独の旅行より、東京と北海道を組み合わせた旅行商品の提案が必要と感じている。今後も北海道の存在感を高めるため、効果的なプロモーションを続けていきたい。

### ◇栃木県

現時点では栃木県の知名度は低いが、東京及び成田空港から近いという地理的条件を説明し、日光等をアピールする事で、旅行先として関心を持っていただけた。今後も、ベトナムに加えアセアン諸国から多くの観光客に栃木を訪問してもらえよう、栃木の魅力を積極的にアピールしていきたい。

### ◇岐阜県

昨年度も同事業に参加したが、ベトナム旅行業関係者の岐阜に対する知名度が高まっていることが実感できた。ベトナムは、今後も成長が期待される市場と考えており、引き続き岐阜のプロモーションを続けていきたい。

### ◇九州観光推進機構

ベトナムにおける訪日旅行への関心の高まりを感じた。ベトナム～福岡間には直行便が運航されており、ベトナムから最も近い九州への旅行者は増えると感じている。今後も、多くの人々に訪問してもらえよう、九州の多様な魅力をアピールしていきたい。

このように、今回のセミナー・商談会では有意義な活動を行えた参加者が多かったようです。こうしたプロモーション活動により、ベトナムにおける訪日旅行市場が今後ますます活発化することが期待されます。

今後とも当事務所では、注目が高まる東南アジア地域での自治体による訪日旅行誘致活動を支援してまいります。

**参考① ベトナム「ビジット・ジャパン (VJ) セミナー・商談会」概要**

開催都市名	ハノイ	ホーチミン
日時	2014年10月22日(水) 13:30~17:30	2014年10月24日(金) 13:30~17:30
場所	Melia Hanoi Hotel	Pullman Saigon Centre Hotel
主催	国土交通省観光庁、日本政府観光局 (JNTO) バンコク事務所	
協力	在ベトナム日本国大使館	在ホーチミン日本国総領事館
対象	ベトナム国内訪日旅行取扱旅行者、航空会社及び報道機関	
日本側出展者	27 団体 (自治体・関連団体 13/ 観光関連施設 8/旅行関連会社 4/ その他 2)	28 団体 (自治体・関連団体 13/ 観光関連施設 8/旅行関連会社 5/ その他 2)
ベトナム側参加者	32 団体	45 団体

注 日本側及びベトナム側参加者数は、2014年11月時点の暫定値。

**参考② ベトナム「ビジット・ジャパン (VJ) セミナー・商談会」の内容**

プログラム	担当・出席者等
(1) 日本側出展者への事前説明	JNTO バンコク事務所・観光庁ベトナム市場臨時コンタクトポイント
(2) セミナー	
① 主催者挨拶	JNTO バンコク事務所長
② 来賓挨拶	ハノイ： Than ベトナム旅行会社協会 (VITA) 副会長 ホーチミン： Lon 訪日旅行クラブ (JOTC 南部) 会長
③ 在外公館からの説明	ハノイ： 在ベトナム日本国大使館 ホーチミン： 在ホーチミン日本国総領事館
④ Visit Japan 事業についての説明	JNTO バンコク事務所
(3) 商談会	日本側・ベトナム側出展者

(仲田所長補佐 堺市派遣)